

2022年度 社会人野球表彰

主催 公益財団法人日本野球連盟
共催 毎日新聞社 スポーツニッポン新聞社
協賛 シチズン時計株式会社

2022年度社会人野球表彰選手が、選考委員会(委員長=坂口裕之・日本野球連盟アスリート委員会委員長)の審議を経て決定した。ベストナイン(指名打者を含めて10選手)は9選手が初受賞。都市対抗で優勝したENEOSからは柏原史陽投手をはじめ、最多の5人が選出された。個人賞では、度会隆輝選手(ENEOS)が最多本塁打賞と最多打点賞をダブル受賞。首位打者賞には吉岡郁哉選手(王子)が輝き、投手部門では片山雄貴投手(Honda熊本)が最多勝利投手賞、柏原投手が最優秀防御率賞をそれぞれ獲得した。「侍ジャパン」U-23日本代表に特別賞が贈られた。



第93回都市対抗野球大会で9年ぶり12回目の優勝を成し遂げた横浜市・ENEOS



第47回社会人野球日本選手権大会で4大会ぶり6回目の優勝を飾ったトヨタ自動車



第46回全日本クラブ野球選手権大会で3大会ぶり5回目の頂点に立った大和高田クラブ



U-23ワールドカップで3大会ぶり2回目の優勝を果たした「侍ジャパン」U-23日本代表

2022年度 ベストナイン 選手紹介

- ①生年月日
 - ②身長・体重
 - ③投打
 - ④出身校
 - ⑤年間成績
- 赤丸数字は受賞回数



投手

かしわばら ふみあき
柏原 史陽
(ENEOS)

初

①1993年5月23日②175cm・80kg③右投右打
④神奈川・桐光学園高-同志社大⑤4勝0敗 防御率0.74
登板した15試合でチームは無敗。150キロ超の直球と多彩な
変化球で都市対抗優勝、日本選手権ベスト4に導いた。



捕手

かしわぎ ひでふみ
柏木 秀文
(ENEOS)

初

①1989年9月27日②178cm・87kg③右投右打
④徳島・阿波高-城西国際大⑤打率.209
ベテランらしい巧みなリードで多彩な投手陣を引っ張った。
都市対抗準決勝でサヨナラ勝ちをお膳立てした一打も
印象的。



一塁手

じびき ゆうき
地引 雄貴
(東京ガス)

初

①1990年6月25日②185cm・85kg③右投右打
④千葉・木更津総合高-早稲田大⑤打率.440
選考対象の5大会でいずれも打率3割3分3厘以上を残した。
四死球数も18。不動の4番として存在感を示した。



二塁手

さとう ゆうき
佐藤 勇基
(トヨタ自動車)

初

①1998年5月9日②180cm・82kg③右投右打
④愛知・中京大中京高-法政大⑤打率.258
優勝した日本選手権では8番打者ながら打率3割1分3厘と
活躍し、優秀選手に選出。堅実な守備も定評がある。



三塁手

かわぐち りょうり
川口 凌
(ENEOS)

①1996年10月1日②168cm・75kg③右投左打
④神奈川・横浜高-法政大⑤打率.329

長打力と勝負強さを併せ持つ2番打者。都市対抗や日本選手権といった大舞台で力を発揮。主将としてチームを牽引した。



遊撃手

なかむら じん
中村 迅
(NTT 東日本)

①1999年1月28日②183cm・86kg③右投左打
④茨城・常総学院高-法政大⑤打率.338

日本選手権では打率5割3分3厘と快音を響かせ、打撃賞を獲得。優勝したU-23W杯では日本代表の主将を務めた。



外野手

わたらい りゅうき
度会 隆輝
(ENEOS)

①2002年10月4日②183cm・83kg③右投左打
④神奈川・横浜高⑤打率.233

7本塁打と21打点は最多。都市対抗決勝での反撃の3ランなど記憶に残るアーチを重ね、高卒2年目は飛躍の1年になった。



外野手

うちやま きょうすけ
内山 京祐
(NTT 東日本)

①1998年4月5日②175cm・82kg③右投左打
④千葉・習志野高-中央大⑤打率.366

走攻守に優れた好打者。打率5割で首位打者賞を獲得した都市対抗の2回戦では1本塁打と二塁打3本と固め打ちした。



外野手

たき ひろし
多木 裕史
(トヨタ自動車)

①1990年5月12日②178cm・76kg③右投左打
④香川・坂出高-法政大⑤打率.355

2017年以來3回目の受賞。日本選手権決勝では逆転二塁打を放ち、巧みなバットさばきは社会人10年目でも健在だ。



指名打者

やまさき れん
山崎 錬
(ENEOS)

①1990年12月13日②176cm・82kg③右投左打
④神奈川・慶應義塾高-慶應大⑤打率.288

優勝した都市対抗では打率3割6分8厘を残し、ベスト4の日本選手権も打率3割3分3厘。4番の仕事を果たした。

個人賞



首位打者賞

よしおか ふみや
吉岡 郁哉 (王子) **初**

打率4割7分1厘(14試合51打数24安打)

①1996年5月16日②176cm・90kg③右投左打④奈良・智辯学園高―法政大

JABA静岡大会で首位打者賞獲得と春先から好調。日本選手権でも打率5割5分6厘、1本塁打と4番として牽引した。

最多本塁打賞・最多打点賞

わたらい りゅうき
度会 隆輝 (ENEOS) いずれも **初**

7本 21打点(23試合)

①2002年10月4日②183cm・83kg③右投左打④神奈川・横浜高

都市対抗と日本選手権で計5本塁打。14打点が本塁打による打点で、走者がいる場面での思い切りの良さが光った。



最多勝利投手賞

かたやま ゆうき
片山 雄貴 (Honda 熊本) **初**

6勝2敗(13試合)

①1993年8月8日②179cm・78kg③右投右打④福岡・福岡工大城東高―駒澤大

4勝が救援での勝ち星。最速150km/hの直球と多彩な変化球で相手に的を絞らせず、試合の流れを変える投球が光った。

最優秀防御率賞

かしわばら ふみあき
柏原 史陽 (ENEOS) **初**

0.74(15試合 48回1/3 失点4 自責点4)

①1993年5月23日②175cm・80kg③右投右打④神奈川・桐光学園高―同志社大

都市対抗では全5試合に登板し、自責点0。大久保監督が「橋戸賞みたいなもの」とたたえるほど安定感抜群だった。



※①生年月日②身長・体重③投打④出身校 赤丸数字は受賞回数

特別賞

「侍ジャパン」 U-23日本代表

「第4回WBSC U-23ワールドカップ」で3大会ぶり2回目の優勝。初優勝時はプロアマ混成チームだったが、今大会は社会人のみで編成し、快挙を成し遂げた。



記録集

※同数の場合の並び順は表彰基準による

打率 (表彰基準対象選手上位10人)

	試合	打数	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	打率
① 吉岡 郁哉 (王子)	14	51	24	7	1	3	12	0.471
② 地引 雄貴 (東京ガス)	17	50	22	3	0	0	8	0.440
③ 齋田 海斗 (TDK)	15	56	23	3	0	3	12	0.411
④ 稲垣 翔太 (Honda熊本)	15	55	22	5	1	5	15	0.400
⑤ 橋本 典之 (大阪ガス)	14	55	21	2	0	1	5	0.382
⑥ 村上 公康 (鷺宮製作所)	14	40	15	1	0	0	3	0.375
⑦ 添田 真海 (日本通運)	17	67	25	2	1	2	12	0.373
⑧ 内山 京祐 (NTT東日本)	19	82	30	7	1	2	10	0.366
⑨ 植田 匡哉 (セガサミー)	13	55	20	5	0	1	4	0.364
⑩ 多木 裕史 (トヨタ自動車)	19	76	27	5	1	1	12	0.355

本塁打

① 度会 隆輝 (ENEOS)	7
② 稲垣 翔太 (Honda熊本)	5
福永 裕基 (日本新薬)	5
④ 古寺 宏輝 (Honda熊本)	4
若林 将平 (日本新薬)	4
北本 一樹 (東京ガス)	4

打点

① 度会 隆輝 (ENEOS)	21
② 北川 利生 (日本通運)	17
③ 樺澤 健 (トヨタ自動車)	17
④ 森松裕次郎 (日本通運)	16
⑤ 稲垣 翔太 (Honda熊本)	15

盗塁

① 小野田俊介 (東京ガス)	7
② 徳本健太郎 (トヨタ自動車)	7
③ 北畠 栞人 (TDK)	6
④ 橋本 典之 (大阪ガス)	6

犠打

① 渡邊 宏祐 (ミキハウス)	10
② 高祖 健輔 (トヨタ自動車)	8

防御率 (表彰基準対象選手のみ)

	試合	投球回	被安打	被本塁打	奪三振	与四死球	失点	自責点	防御率
① 柏原 史陽 (ENEOS)	15	48	32	0	51	11	4	4	0.74
② 吉村貢司郎 (東芝)	9	47	31	0	57	9	4	4	0.77
③ 臼井 浩 (東京ガス)	11	48	41	3	38	8	9	7	1.29
④ 関根 智輝 (ENEOS)	12	44	35	2	44	12	10	8	1.61
⑤ 鈴木 大貴 (TDK)	7	48	40	1	32	18	10	10	1.88
⑥ 竹田 祐 (三菱重工West)	8	49	35	3	41	9	13	11	2.01
⑦ 片山 雄貴 (Honda熊本)	13	44	33	2	26	14	12	11	2.22
⑧ 大津 亮介 (日本製鉄鹿島)	7	46	51	3	38	14	16	15	2.91
⑨ 加藤 三範 (ENEOS)	17	43	37	4	35	13	16	16	3.32

勝利数

	試合	勝	負	勝率
① 片山 雄貴 (Honda熊本)	13	6	2	0.750
② 関根 智輝 (ENEOS)	12	5	1	0.833
臼井 浩 (東京ガス)	11	5	1	0.833
吉村貢司郎 (東芝)	9	5	1	0.833
⑤ 柏原 史陽 (ENEOS)	15	4	0	1.000
糸川 亮太 (ENEOS)	10	4	0	1.000
古田島成龍 (日本通運)	8	4	0	1.000
⑧ 小孫 竜二 (鷺宮製作所)	8	4	2	0.667
鈴木 大貴 (TDK)	7	4	2	0.667

奪三振

	試合	打者	奪三振
① 吉村貢司郎 (東芝)	9	179	57
② 小孫 竜二 (鷺宮製作所)	8	196	54
③ 柏原 史陽 (ENEOS)	15	183	51
④ 関根 智輝 (ENEOS)	12	178	44
⑤ 竹田 祐 (三菱重工West)	8	188	41
⑥ 鷺崎 淳 (JR九州)	6	166	39
⑦ 臼井 浩 (東京ガス)	11	190	38
大津 亮介 (日本製鉄鹿島)	7	197	38
⑨ 藤村 哲之 (東芝)	8	151	37
⑩ 加藤 三範 (ENEOS)	17	176	35

坂口裕之選考委員長 (日本野球連盟アスリート委員会委員長)



都市対抗と日本選手権の上位に来たチームがある程度、同じだった。そこは高く評価するべき。(トヨタ自動車の)多木選手が3回目のベストナインであとの選手は初選出。年数がかかって取れた選手もいれば、若手もいる。バランス良く選出されたのではないかなと思う。

一塁手は悩んだが、東京ガスの地引選手を選んだ。2年連続で都市対抗の決勝に進出した貢献度、さらに昨年、優勝したチームの4番打者が今年も年間で4割4分を打った。「地引を抑えないと東京ガスには勝利できない」と相手のチームのマークがある中で安定した成績を残したことは高く評価すべきだ。

地引選手や(ENEOSの)山崎選手のように10年目で取るのはすごいこと。(ENEOSの)柏木選手も11年目。各チームのベテランにとっても希望がある。当然、若い力が出てこないと社会人野球は盛り上がらない。この選出は、選手たちにとって励みになるだろう。

特別賞にU-23ワールドカップで優勝した日本代表を選んだ。高く評価でき、うれしい表彰。アスリート委員会の地域部会の方々が推薦したメンバーがほとんど出場した。また今回の代表は(社会人世代の日本代表の育成・強化を目的とした)全日本ジュニア強化合宿に参加したメンバーがほとんど。石井代表監督をはじめスタッフの皆さんの指導の下、優勝をつかみ取った選手に敬意を表したい。U-23という若い世代の世界一は社会人野球の将来につながる成果であった。

2022年度社会人野球ベストナイン選考結果

1次	2次	3次	最終	投手
●	●	●	●	西田 光次 JR東日本
●	●	●	●	柳橋 巧人 JR東海
●	●	●	●	大野 享輔 三菱重工East
●	●	●	●	須川 亮太 ENEOS
●	●	●	●	柏原 史徳 ENEOS
●	●	●	●	吉村 貴司郎 東芝
●	●	●	●	阪部 博光 SUBARU
●	●	●	●	山本 智也 東京ガス
●	●	●	●	臼井 隆広 日本生命
●	●	●	●	嘉藤 宗一郎 トヨタ自動車
●	●	●	●	岡原 智博 ENEOS
●	●	●	●	藤村 智之 東芝
●	●	●	●	湖上 佳輝 トヨタ自動車
●	●	●	●	長島 彰二 三菱重工East
●	●	●	●	小塚 竜二 三菱製作所
●	●	●	●	坂本 大貴 TDK
●	●	●	●	多田 裕作 NTT東日本
●	●	●	●	葛海 光貴 セガサミー
●	●	●	●	竹田 祐 三菱重工West
●	●	●	●	坂本 亮 パナソニック
●	●	●	●	片山 健貴 Honda熊本
●	●	●	●	前田 敬本 日本通運
●	●	●	●	重田 謙 三菱自動車岡崎
●	●	●	●	高田 成隆 TDK
●	●	●	●	高島 泰都 王子
●	●	●	●	大津 亮介 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	藤崎 淳 JR九州
●	●	●	●	藤村 浩太 三菱製作所
●	●	●	●	岡 直人 日立製作所
●	●	●	●	片山 亮生 NTT東日本
●	●	●	●	高橋 佑樹 東京ガス
●	●	●	●	池田 大輔 東京ガス
●	●	●	●	津田 悠太 三菱重工East
●	●	●	●	全田 悠太郎 東海理化
●	●	●	●	工藤 隆平 JR東日本東北
●	●	●	●	森田 武向 東京ガス
●	●	●	●	津田 悠太 JR北海道ノルダム
●	●	●	●	中村 伊吹 Honda
●	●	●	●	鈴木 匡哉 JR九州
●	●	●	●	沼田 優雅 NTT東日本
●	●	●	●	江藤 優太 信風硬式野球クラブ

1次	2次	3次	最終	捕手
●	●	●	●	松山 拓海 全道利クラブ
●	●	●	●	水野 雄平 三菱重工East
●	●	●	●	井上 大輔 ミキハウス
●	●	●	●	中園 謙一郎 日立製作所
●	●	●	●	丸山 健太 Honda熊本
●	●	●	●	南大 寿也 JR北海道硬式野球クラブ
●	●	●	●	城野 達哉 西濃運輸
●	●	●	●	高野 亮太 大阪ガス
●	●	●	●	竹田 寛 三菱製作所
●	●	●	●	竹田 寛 Honda熊本
●	●	●	●	持原 昌哉 三菱重工West
●	●	●	●	中村 浩人 セガサミー
●	●	●	●	須田 達也 セガサミー
●	●	●	●	津田 悠太 東京ガス
●	●	●	●	徳田 英介 JR九州
●	●	●	●	柏木 秀文 ENEOS
●	●	●	●	佐々木 一輝 NTT東日本
●	●	●	●	保坂 淳介 NTT東日本
●	●	●	●	高相 健輔 トヨタ自動車

1次	2次	3次	最終	一塁手
●	●	●	●	千野 啓二郎 Honda
●	●	●	●	萩利 雄祐 ヤマハ
●	●	●	●	藤引 雄貴 東京ガス
●	●	●	●	中嶋 政弥 日本製鉄石巻
●	●	●	●	公家 響 大阪ガス
●	●	●	●	山田 誠十 NTT西日本
●	●	●	●	藤本 聖太郎 三菱重工East
●	●	●	●	田中 秀哉 ミキハウス
●	●	●	●	柳澤 健 トヨタ自動車
●	●	●	●	牛田目 忍 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	吉田 安輝 Honda熊本
●	●	●	●	森松 裕次郎 日本通運
●	●	●	●	古川 陽樹 大阪ガス
●	●	●	●	田村 謙 JR西日本
●	●	●	●	野田 健史 三菱重工East
●	●	●	●	丸山 昂史 ENEOS
●	●	●	●	齋藤 淳弥 NTT東日本
●	●	●	●	佐々木 勝哉 ENEOS
●	●	●	●	藤田 龍之祐 日本製鉄
●	●	●	●	栗井 拓海 西園銀行

1次	2次	3次	最終	二塁手
●	●	●	●	浦部 剛史 日本通運
●	●	●	●	宇都口 淳 三菱自動車岡崎
●	●	●	●	奈良原 裕也 日本製鉄かずさマジック
●	●	●	●	岸野 金太郎 三菱重工East
●	●	●	●	福水 裕基 日本製鉄
●	●	●	●	山口 乃哉 王子
●	●	●	●	大南 英也 ミキハウス
●	●	●	●	中山 竜也 Honda熊本
●	●	●	●	北川 智也 セガサミー
●	●	●	●	田崎 誠也 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	小泉 謙平 Honda熊本
●	●	●	●	津田 悠太 三菱重工West
●	●	●	●	平良 竜哉 NTT西日本
●	●	●	●	石井 元 Honda熊本
●	●	●	●	船橋 隼人 東京ガス
●	●	●	●	中田 大輔 JR西日本
●	●	●	●	佐藤 勇弘 トヨタ自動車
●	●	●	●	藤下 智弘 大阪ガス
●	●	●	●	豊野 龍門 JR東日本東北
●	●	●	●	藤下 大貴 TDK
●	●	●	●	野中 健也 日立製作所
●	●	●	●	小豆澤 誠 ENEOS

1次	2次	3次	最終	三塁手
●	●	●	●	北野 樹 JR東日本
●	●	●	●	貞光 広登 Honda鈴鹿
●	●	●	●	黒川 貴章 セガサミー
●	●	●	●	神藤 廣太 三菱重工ノルダム
●	●	●	●	川口 凌 Honda熊本
●	●	●	●	川口 凌 ENEOS
●	●	●	●	横川 駿也 王子
●	●	●	●	福海 誠也 日本通運
●	●	●	●	津田 悠太 東芝
●	●	●	●	土居 拓海 JR西日本
●	●	●	●	北村 祥治 トヨタ自動車
●	●	●	●	下川 知弥 NTT東日本
●	●	●	●	石川 裕也 東京ガス
●	●	●	●	森下 翔平 日立製作所
●	●	●	●	和氣 唯輝 三菱重工West
●	●	●	●	米田 亮太郎 三菱製作所
●	●	●	●	藤下 智之 SUBARU
●	●	●	●	櫻村 昌樹 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	平野 英丸 JR東海
●	●	●	●	大西 蓮 JR東日本東北

1次	2次	3次	最終	遊撃手
●	●	●	●	田中 達朗 東芝
●	●	●	●	河田 翔太 東海理化
●	●	●	●	佐々木 晋太 JR東海
●	●	●	●	大庭 樹也 東芝
●	●	●	●	福根 翔太 Honda熊本
●	●	●	●	漆田 真海 日本通運
●	●	●	●	中山 裕太 三菱重工West
●	●	●	●	中村 浩 NTT東日本
●	●	●	●	前田 清平 王子
●	●	●	●	渡邊 裕祐 ミキハウス
●	●	●	●	花本 大貴 大阪ガス
●	●	●	●	内山 隼太 日本製鉄かずさマジック
●	●	●	●	瀬戸西 純 ENEOS
●	●	●	●	峯村 貴希 Honda
●	●	●	●	池田 寛人 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	奥田 寛太 NTT西日本
●	●	●	●	和田 佳大 トヨタ自動車
●	●	●	●	北本 一樹 東京ガス
●	●	●	●	小川 翔平 三菱製作所
●	●	●	●	岩 健太郎 日立製作所
●	●	●	●	相羽 寛太 ヤマハ

1次	2次	3次	最終	外野手
●	●	●	●	吉岡 郁哉 王子
●	●	●	●	平野 友都 東京ガス
●	●	●	●	齋藤 海斗 TDK
●	●	●	●	大谷 裕 日本通運
●	●	●	●	藤本 聖太郎 日本生命
●	●	●	●	松本 凌大 大和高田クラブ
●	●	●	●	鈴木 聖歩 JR東日本東北
●	●	●	●	齋藤 圭輔 ヤマハ
●	●	●	●	多木 裕之 大阪ガス
●	●	●	●	鈴木 廉 Honda
●	●	●	●	村上 公康 三菱製作所
●	●	●	●	内山 裕祐 NTT東日本
●	●	●	●	藤本 聖太郎 セガサミー
●	●	●	●	坂本 尚哉 トヨタ自動車
●	●	●	●	岡山 勇軌 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	土田 圭司 日本生命
●	●	●	●	多木 裕之 トヨタ自動車
●	●	●	●	小柳 聖也 三菱重工East
●	●	●	●	北島 英人 TDK
●	●	●	●	日本生命 Honda熊本
●	●	●	●	中野 聖矢 ENEOS
●	●	●	●	藤澤 康太郎 ENEOS
●	●	●	●	丸山 大 JR東日本東北
●	●	●	●	藤川 晃平 東京ガス
●	●	●	●	汐井 拓太郎 三菱重工East
●	●	●	●	清水 聖也 大阪ガス
●	●	●	●	佐藤 悠輝 三菱重工West
●	●	●	●	橋本 研次郎 東京ガス
●	●	●	●	山田 誠平 JR九州
●	●	●	●	小野田 俊介 東京ガス
●	●	●	●	岩切 真弘 JR九州
●	●	●	●	武田 健吾 三菱重工East
●	●	●	●	津澤 優介 トヨタ自動車
●	●	●	●	向山 英生 NTT東日本
●	●	●	●	山内 慧 JR東日本
●	●	●	●	徳本 健太郎 トヨタ自動車
●	●	●	●	度会 隆輝 ENEOS
●	●	●	●	橋本 聖太郎 ミキハウス
●	●	●	●	村上 貴哉 ENEOS
●	●	●	●	中田 悠斗 ヤマハ

1次	2次	3次	最終	指名打者
●	●	●	●	三井 健右 大阪ガス
●	●	●	●	藤野 賢登 東京ガス
●	●	●	●	今井 備斗 トヨタ自動車
●	●	●	●	加藤 亮佑 日本製鉄東海REX
●	●	●	●	柴田 圭磨 東京ガス
●	●	●	●	谷川 刀麻 東芝
●	●	●	●	長澤 拓哉 NTT東日本
●	●	●	●	藤川 仁 日本生命
●	●	●	●	藤本 康平 セガサミー
●	●	●	●	若林 亮太 JR東日本東北
●	●	●	●	浦田 真也 西濃運輸
●	●	●	●	高島 謙平 日本製鉄鹿島
●	●	●	●	加藤 雅樹 東京ガス
●	●	●	●	山崎 謙 ENEOS
●	●	●	●	茶谷 良太 三菱製作所
●	●	●	●	田中 樹則 日立製作所
●	●	●	●	綿原 樹 JFE西日本

編集・制作・写真提供 毎日新聞社
協力 公益財団法人日本野球連盟
スポーツニッポン新聞社
NPBエンタープライズ

2022年度社会人野球表彰基準

1. 対象	3. 表彰基準												
第93回都市対抗野球大会、第46回全日本クラブ野球選手権大会、第47回社会人野球日本選手権大会、JABA11大会の計14大会	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表彰項目</th> <th>表彰基準の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>首位打者賞</td> <td>規定打数以上で最高打率を挙げたプレーヤー “規定打数”の考え方： 試合数の前提を次のとおりとする。 都市対抗本大会・・・1試合以上出場 都市対抗本大会もしくは日本選手権本大会・・・計2試合以上出場 上記前提で、合計12試合以上の出場を前提とする。 規定打数：40打数以上とし、小数点は第3位までとして、 第4位を四捨五入とする。同率の場合、以下の順で決定する。 ・総安打数が多い方が上位 ・長打率が高い方が上位 ・両者を首位打者とする。</td> </tr> <tr> <td>最多本塁打賞</td> <td>出場したプレーヤーの中で、通算最多本塁打を打ったプレーヤー 同数の場合は、打席数が最少のプレーヤーを上位とする。</td> </tr> <tr> <td>最多打点賞</td> <td>出場したプレーヤーの中で、通算最多打点のプレーヤー 同数の場合は、打席数が最少のプレーヤーを上位とする。</td> </tr> <tr> <td>最多勝利投手賞</td> <td>出場したプレーヤーの中で、通算最多勝利を挙げた投手 同数の場合は、以下の順で決定する。 ・総投球イニング数が多い方が上位</td> </tr> <tr> <td>最優秀防御率賞</td> <td>規定投球回数以上で最高の防御率を挙げた投手 “規定投球回数”の考え方： 都市対抗本大会・・・1試合以上登板 都市対抗本大会もしくは日本選手権本大会・・・計2試合以上登板 上記前提とし、計40イニング以上を対象とする。</td> </tr> </tbody> </table>	表彰項目	表彰基準の考え方	首位打者賞	規定打数以上で最高打率を挙げたプレーヤー “規定打数”の考え方： 試合数の前提を次のとおりとする。 都市対抗本大会・・・1試合以上出場 都市対抗本大会もしくは日本選手権本大会・・・計2試合以上出場 上記前提で、合計12試合以上の出場を前提とする。 規定打数：40打数以上とし、小数点は第3位までとして、 第4位を四捨五入とする。同率の場合、以下の順で決定する。 ・総安打数が多い方が上位 ・長打率が高い方が上位 ・両者を首位打者とする。	最多本塁打賞	出場したプレーヤーの中で、通算最多本塁打を打ったプレーヤー 同数の場合は、打席数が最少のプレーヤーを上位とする。	最多打点賞	出場したプレーヤーの中で、通算最多打点のプレーヤー 同数の場合は、打席数が最少のプレーヤーを上位とする。	最多勝利投手賞	出場したプレーヤーの中で、通算最多勝利を挙げた投手 同数の場合は、以下の順で決定する。 ・総投球イニング数が多い方が上位	最優秀防御率賞	規定投球回数以上で最高の防御率を挙げた投手 “規定投球回数”の考え方： 都市対抗本大会・・・1試合以上登板 都市対抗本大会もしくは日本選手権本大会・・・計2試合以上登板 上記前提とし、計40イニング以上を対象とする。
表彰項目	表彰基準の考え方												
首位打者賞	規定打数以上で最高打率を挙げたプレーヤー “規定打数”の考え方： 試合数の前提を次のとおりとする。 都市対抗本大会・・・1試合以上出場 都市対抗本大会もしくは日本選手権本大会・・・計2試合以上出場 上記前提で、合計12試合以上の出場を前提とする。 規定打数：40打数以上とし、小数点は第3位までとして、 第4位を四捨五入とする。同率の場合、以下の順で決定する。 ・総安打数が多い方が上位 ・長打率が高い方が上位 ・両者を首位打者とする。												
最多本塁打賞	出場したプレーヤーの中で、通算最多本塁打を打ったプレーヤー 同数の場合は、打席数が最少のプレーヤーを上位とする。												
最多打点賞	出場したプレーヤーの中で、通算最多打点のプレーヤー 同数の場合は、打席数が最少のプレーヤーを上位とする。												
最多勝利投手賞	出場したプレーヤーの中で、通算最多勝利を挙げた投手 同数の場合は、以下の順で決定する。 ・総投球イニング数が多い方が上位												
最優秀防御率賞	規定投球回数以上で最高の防御率を挙げた投手 “規定投球回数”の考え方： 都市対抗本大会・・・1試合以上登板 都市対抗本大会もしくは日本選手権本大会・・・計2試合以上登板 上記前提とし、計40イニング以上を対象とする。												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2. 表彰項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ベストナイン賞</td></tr> <tr><td>・首位打者賞</td></tr> <tr><td>・最多本塁打賞</td></tr> <tr><td>・最多打点賞</td></tr> <tr><td>・最多勝利投手賞</td></tr> <tr><td>・最優秀防御率賞</td></tr> </tbody> </table>	2. 表彰項目	・ベストナイン賞	・首位打者賞	・最多本塁打賞	・最多打点賞	・最多勝利投手賞	・最優秀防御率賞						
2. 表彰項目													
・ベストナイン賞													
・首位打者賞													
・最多本塁打賞													
・最多打点賞													
・最多勝利投手賞													
・最優秀防御率賞													

社会をつなぐ、
言葉でつむぐ



新
毎
日



人にも社会にも、
見落とされがちなことがある。

見過ごされた現実を
そのままにしておくと、
人も社会もバラバラになる。

だから、気づいた人が
まわりの人に伝えていく。

伝えるって、つなぐこと、だと思う。

特設サイト公開中

のんと毎日新聞

検索



毎日新聞は、コミュニケーター・カンパニーへ

スポニチじゃないスポニチも、おもしろい!

スポニチ

スポーツ・ギャンブル・芸能・
社会…etc.
スクープ連発!スポーツ新聞の
パイオニア!!

月刊タブロイド新聞

スポニチの紙面に刻まれた
あのドラマ、あの事件が甦る!

スポニチ アーカイブズ

子供たちのスポーツ新聞

人気のスポーツ選手・タレント
のロング・インタビュー掲載!

スポニチ ジュニア

スポニチweb版

当日の紙面だけでなく、独自の
コンテンツも展開。リアルタイ
ムの速報はwebならではの!

スポニチ Sponichi Annex

<http://www.sponichi.co.jp/>

MANGA ARCHIVOS WEEKLY 週刊マンガアルチャーボ

- 第1弾「あしたのジョー」
- 第2弾「タイガーマスク」
- 第3弾「キャプテン」
- 第4弾「課長 島耕作」
- 第5弾「キャプテン翼」
- 第6弾「部長 島耕作」
- 第7弾「プレイボール」
- 第8弾「ブラックジャック」
- 第9弾「ダービージョッキー」
- 第10弾「包丁人味平」



スポニチ

ご購入のお申し込みは

フリーダイヤル

0120-4612-10 まで

※スポニチ1カ月の購読料は3,353円です

東京本社 〒135-8517

東京都江東区越中島2-1-30 ☎ 03-3820-0700

大阪本社 〒530-8278

大阪市北区梅田3-4-5 ☎ 06-6346-8500

西部総局 〒810-0001

福岡市中央区天神1-16-1 毎日福岡会館9F ☎ 092-781-0712

未来は、挑んだ先にある。

ATTESA



CITIZEN

BETTER STARTS NOW

エコドライブGPS衛星電波時計 F950
CC4055-65E ¥286,000 (税抜価格 ¥260,000)
シチズン時計株式会社

※5万円～30万円の男性用チタニウム製腕時計ブランドにおいて
(スマートウォッチは除く)。2021年における日本国内小売店での販売数量
ベース。2022年5～6月ヨーロッパ・インターナショナル調べ。

ランダー(月着陸船)はイメージです

シチズンお客様時計相談室 0120-78-4807 受付時間/9:30～17:30(祝日を除く月～金)
シチズン時計株式会社 <https://citizen.jp>

